



竿燈の会場で
お待ちしております！

日々初心

市長コラム・日々初心

市長●穂積 志

初めての夏と2度目の夏

もくもくと湧き上がる入道雲にカーッと照りつける太陽、そして街を彩る鮮やかな夏の花、まさに夏真っ盛りです。春夏秋冬それぞれが鮮烈で、秋田ほど四季のメリハリに富んだところは、他にないのではないかと、常々その幸せを感じています。

初めての夏――

7月から家庭系ごみの有料化が始まりました。初めての収集日となった2日早朝、私も近くの集積所数か所に立ち会いました。新しいごみ袋は、ほぼ適切に使用されており、これまで賛否両論ありましたが、ルールに従って整然とごみを出している姿に敬意と感謝の念を持ちました。同時に有料化に向けた周知などの事務作業がおおむね目的を果たしたことにホッとしています。

また、立ち会ってみて強く感じたのは、今回の有料化は結果的に市民協働や地域の絆づくりにも一役買ったのではないか、ということだと思います。最初は有料化の是非についてであつても、そこから地球温

暖化や相次ぐ異常気象、エネルギー問題、そして具体的なごみの出し方など、地域においてさまざまなお話し合いを持たれたところもあったと聞き及んでいます。地球温暖化や環境に対する思いは、市民のみなさんも行政も同じです。その思いを共有して、それぞれが役割を果たしていけるとしたら、それは市民協働の望ましい姿の一つでもあります。

さて、肝心の家庭系ごみの排出量ですが、有料化スタート時点で大きく減ることは当然としても、注目したいのは、古紙の中で雑がみの排出量が、7月2週間分の比較で前年比40%も増えていることです。このことは、雑がみの分別に対する意識の高まりの一端を示していると思われれます。

7月2日午前6時、地域のみなさんとゆつくり話をするのもでき、気持ちのいい夏の朝になりました。

2度目の夏――

昨年の3・11東日本大震災から2度目の夏を迎えます。岩手県野



7月上旬、市職員が地域のごみ集積所を巡回しました(写真の帽子姿が市長)

田村の災害廃棄物の広域処理をはじめ、被災地の復旧・復興のためには努力をいとみませんが、さらに何ができるのか考えてみたところ、震災により県内に避難・在住されているかたがたを、昨年に引き続き竿燈まつりにご招待することにしました。

震災から1年と5か月がたちますが、時の経過の割には、復旧・復興、そして被災者の支援は進んでいないと私は認識しています。県内の避難・在住者のかたがたもまだまだ不自由な生活を余儀なくされており、竿燈の揺らぐ灯りが被災されたみなさんにとっての希望の光として灯らんことを願っています。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>



第29回

国民文化祭・あきた

2014

会期▼平成26年10月4日(土)～11月3日(月)

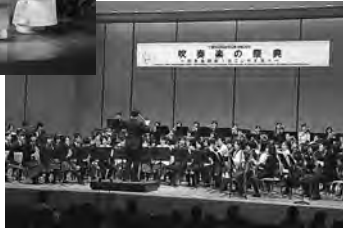
国民文化祭とは…さまざまな文化活動に親しんでいる個人や団体が、全国各地から集う国内最大級の文化の祭典で、昭和61年から各都道府県で開催しています。

シンボルマーク…限りなく広がる文化へのあこがれを、歓喜の人形(かた)の構成でイメージしたデザインです。色は、日本古来の古代紫を基調としています。

テーマ
発見×創造 もうひとつの秋田



写真は昨年の京都国民文化祭の様子。上が能楽の祭典、右が吹奏楽の祭典



平成26年秋、秋田県で初めて「国民文化祭」が開催されます。会期中は、県内各市町村でさまざまな文化関連の催しが行われ、全国からもたくさんのお客様や出演者が訪れることが期待されています。

1か月に渡るその内容は、直木賞作家の西木正明さん(仙北市出身)が総合プロデューサーを、また作曲家の天野正道さん(秋田市出身)が音楽監督を務めるオーブニング式典を皮切りに、シンポジウム、各市町村が行う分野別フェスティバル、各芸術団体や

グループが企画する県民参加事業など。まさにみんなで盛り上げる「文化の国体」と呼ぶにふさわしい一大イベントとなる予定です。

秋田市でも、音楽、芸能、芸術などの分野で12の主催事業(左図)を開催。今後、文化団体など、市民のみならずと市からなる「国民文化祭秋田市実行委員会」で、その具体的な内容を検討していきます。詳しくは市ホームページなどでお知らせしますのでお楽しみに！

秋田市の12の「分野別フェスティバル」

- オーケストラの祭典
- 日本舞踊の祭典
- 合唱の祭典
- 吹奏楽の祭典
- 邦楽の祭典
- ピアノ・オルガンフェスティバル
- 能狂言の祭典
- 総合美術展
日本画・洋画・書・
工芸・彫刻・写真など
- 子ども邦舞・邦楽公演
- 古代地域間交流シンポジウム
- 東海林太郎音楽祭
- 舞踏・舞踊フェスティバル in AKITA

出演者や作品を
全国から公募して開催！

秋田市主催事業の問い合わせ

第29回国民文化祭秋田市実行委員会事務局
☎(866)8782(企画調整課内)
<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/mn/kokubunsai/>

7月14日に行われた
大正琴のステージ



国民文化祭サテライトセンター

場所▶秋田駅西口フォンテAKITA 6階(中通)
利用時間▶平日 13:00～19:00(月曜日)
土日・祝10:00～19:00
問い合わせ▶☎(884)7341

情報はここから



国民文化祭サテライトセンター
フォンテ6階で
情報発信中！

フォンテ6階にある国民文化祭サテライトセンターでは、さまざまな企画展示や、文化芸能のステージパフォーマンスなどを行っています。特に週末はイベント盛りだくさん！

まずは、ここに足を運んで、「国民文化祭」までの気分を盛り上げてみてはいかがでしょうか。